

# フェムトセル関連市場と 事業戦略の展望

第2弾

## 第2回報告書「機器／サービス市場予測」編

—— 日本で初登場!! フェムトセルの国内市場規模を業界31社が予測 ——

CD-ROM付き  
(集計結果グラフデータ収録)



3GPP Release8に引き続き、着々と標準化が進められるなか、国内でもフェムトセルに対する取り組みが顕在化してきました。2009年11月にサービスを開始したドコモに続き、今まで沈黙を保っていたKDDIがトライアルを開始。

他方では、FTTHの浸透とNGNの拡販を背景に、ホームICT構想の実現に向けた動きが本格化してきました。フェムトセルは、その重要な役割を担う存在として、改めて注目されるようになっていきます。

本プロジェクトは、フェムトセル関連ビジネスの具体像と事業機会を明らかにするため、多様な調査アプローチを継続して実施するものです。

今回ご案内の第2回報告書では、第一線の業界関係者に緊急アンケート調査を実施。31社からの回答を得て、国内で初めて市場の定量的把握を試みています。

フェムトセルの市場規模や立上り時期、料金、派生分野等、今まで漠としていた事業の輪郭を数値として明確にしました。お客様の新事業を確実なものにするため、本調査で得られた集計結果をぜひご活用下さい。

### 「フェムトセル関連市場と事業戦略の展望・第2回報告書」の内容は、次頁をご覧ください

※ご参考用として、弊社webに見本ページをご用意しました。webからお問い合わせもいただけます。

情報流通ビジネス研究所ホームページ <http://www.isbi.co.jp/>

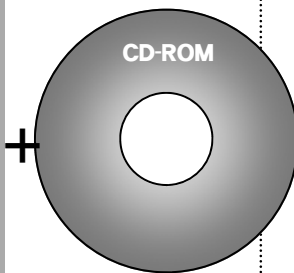
- 発行日 「フェムトセル関連市場と事業戦略の展望」第2回報告書 2010年3月26日（初版第1刷）
- 頒 価 本体価格120,000円（税込価格：126,000円・宅配便送料無料サービス）  
※第1回報告書ご購入済みのお客様には、**特別価格95,000円（税込99,750円）**でご提供
- 体 裁 A4変型判・約100頁（本編・50頁＋MWC2010現地報告・50頁）※集計結果グラフデータ収録CD-ROM付き
- 企画発行 株式会社 情報流通ビジネス研究所
- お申込み お申込書（本パンフレット最終頁）に必要項目ご記入の上、FAXで弊社まで送信してください。折り返し、弊社よりお申込み確認のメールを送信いたします。
- 商品発送 お申込みから発送までに1～2営業日かかります。発送翌日の午前中着便でお届けいたします。
- お支払い 発送商品にご請求書・納品書を同封いたします。内容をご確認の上、弊社指定銀行口座までお振込み下さるよう、お願いいたします（法人でのご購入に限ります）。

■お問合せ/  
お申込先は



情報流通ビジネス研究所  
Info-Sharing Business Institute, Ltd.

TEL 046-271-2323 FAX 046-271-2324 HPからもお問合せいただけます  
〒242-0006 神奈川県大和市南林間2-18-23 長尾会計1F



**集計結果グラフのデータを収録**

(レポート内容のPDF等はいりません)

**I. オーバービュー**

1. 価格/料金
  - (1) 装置価格
  - (2) 月額基本料
2. ARPUへの影響度(貢献度)
  - (1) 音声ARPU
  - (2) データARPU
3. 加入者市場規模
  - (1) 新規加入数
  - (2) 累計加入数
4. 各種業種・業態との関連度および事業インパクト
  - (1) 関連度(総合ポイントベース)
  - (2) 事業インパクト(総合ポイントベース)

**II. 予測集計結果**

1. 普及パターンについて(近似する消費者向けサービス/機器)
2. フェムトセル装置価格予想集計値(2010年度～2015年度)
3. 月額基本料予想集計値(2010年度～2015年度)
4. 音声ARPU貢献度(影響度)集計値(2010年度～2015年度)
5. データARPU貢献度(影響度)集計値(2010年度～2015年度)
6. 音声/データARPU予測のポイント
7. 新規加入予測(Min)集計値(2010年度～2015年度)
8. 新規加入予測(Min)のポイント
9. 新規加入予測(Max)集計値(2010年度～2015年度)
10. 新規加入予測(Max)のポイント
11. 新規加入予測集計値(MaxおよびMin)比較(2010年度～2015年度)
12. 累計加入予測値(Min)集計値(2010年度～2015年度)
13. 累計加入予測(Max)集計値(2010年度～2015年度)
14. 累計加入予測集計値(MaxおよびMin)比較(2010年度～2015年度)
15. フェムトセルと各種業種/企業の関連性
  - (1) 2010年度～2015年度の関連性総合ポイント
  - (2) 年度別にみた関連性の推移
    - ①固定通信事業者
    - ②ISP/MVNO/MVNE
    - ③放送事業者
    - ④上位レイヤ企業
    - ⑤通信端末系ベンダー
    - ⑥インフラ系ベンダー
    - ⑦システムインテグレータ
    - ⑧ソフトウェアベンダー
    - ⑨通信建設会社/通信設備業
    - ⑩携帯電話ショップ/量販店等
    - ⑪PC/AV機器メーカー
    - ⑫ゲーム関連企業
    - ⑬白物家電/住設機器/セキュリティ/生活関連等
    - ⑭公共系サービス

- ⑫ゲーム関連企業
- ⑬白物家電/住設機器/セキュリティ/生活関連等
- ⑭公共系サービス
16. 各種業種・企業への事業インパクト
  - (1) 2010年度～2015年度の総合ポイント
  - (2) 年度別にみた事業インパクト推移
    - ①固定通信事業者
    - ②ISP/MVNO/MVNE
    - ③放送事業者
    - ④上位レイヤ企業
    - ⑤通信端末系ベンダー
    - ⑥インフラ系ベンダー
    - ⑦システムインテグレータ
    - ⑧ソフトウェアベンダー
    - ⑨通信建設会社/通信設備業
    - ⑩携帯電話ショップ/量販店等
    - ⑪PC/AV機器メーカー
    - ⑫ゲーム関連企業
    - ⑬白物家電/住設機器/セキュリティ/生活関連等
    - ⑭公共系サービス
17. フェムト接続機器/サービス数の予想(2010年度～2015年度)
18. 今後の課題や期待
  - (1) 技術/システム/インフラ/端末
  - (2) マーケティング/流通・販売・運用/ビジネスモデル
  - (3) 制度・政策/業界/国際競争力/その他

**III. 資料編**

1. 業界関係者アンケート設問票
2. 「Mobile World Congress2010」視察報告
  - (1) MWC2010の概要
  - (2) 全体トピック
  - (3) メインストリーム
  - (4) フェムトセル出展・現地視察報告
    - ①ip.access (アイピーアクセス)
    - ②Airvana (エアバナ)
    - ③picoChip (ピコチップ)
    - ④NEC
    - ⑤フェムトゾーン2010
    - ⑥Sagemcom
    - ⑦Continuous Computing
    - ⑧Hsl (Hay Systems Limited)
    - ⑨Juni
    - ⑩Alcatel-Lucent
    - ⑪その他
  - (5) 参考: MWC2010におけるスマートフォン関連出展報告
    - ①NTTドコモ
    - ②SKテレコム
    - ③テレフォニカ
    - ④サムスン (Samsung WAVE発表会含む)
    - ⑤LG
    - ⑥ソニー・エリクソン
    - ⑦モトローラ
    - ⑧RIM
    - ⑨HTC
    - ⑩ZTE
    - ⑪Huawei
    - ⑫マイクロソフト
    - ⑬東芝
    - ⑭NEC
    - ⑮LiMo Foundation (Panasonicブース内)
    - ⑯Qualcomm (Embedded Mobile Zone)
    - ⑰Sagem
    - ⑱Qualcomm
    - ⑲ST Ericsson
    - ⑳App Planet

企画書/プレゼンに便利。集計結果グラフデータを収録したCD-ROMを付属

お申込用紙は、このパンフレットの最終ページにございます。FAXにてお申込み下さい  
インターネットでも詳細をご案内しております。見本ページも用意しました。お問い合わせも下記webからどうぞ(24時間対応)  
情報流通ビジネス研究所ホームページ <http://www.isbi.co.jp/>

「フェムトセル関連市場と事業戦略の展望」第1回報告書

- 発行日 2009年11月18日（初版第2刷）
- 頒 価 本体価格95,000円（税込99,750円・宅配便送料無料）  
※第2回報告書「機器/サービス市場予測」編とのセット割引あり  
第2回報告書の価格126,000円（税込）を99,750円（同）でご提供
- 体 裁 全194頁・図表全126点・A4変型判・表紙カラー・本文白黒



1. フェムトセルの概要

- 1-1 フェムトセルの基本コンセプト
- 1-2 フェムトセルの登場とその背景
- 1-3 フェムトセルの基本的特徴
- 1-4 携帯電話ネットワークの構成とフェムトセル
- 1-5 コアネットワークおよび呼制御
- 1-6 基地局としての導入効果
- 1-7 フェムト・フォーラムの試算
- 1-8 ホーム市場攻略ツールとしての潜在力

2. 仕様化/標準化動向

- 2-1 フェムト・フォーラム
- 2-2 3GPP 36
- 2-3 ブロードバンド・フォーラム
- 2-4 OSGi/その他

3. FMCトレンドと海外オペレータの動向

- 3-1 FMCサービスの概要
- 3-2 FMC本格化の背景
- 3-3 次世代FMCの中核——IMS/NGN
- 3-4 NGNアーキテクチャ/IMSの動向
- 3-5 欧州オペレータのFMC動向 ①BT
- 3-6 欧州オペレータのFMC動向 ②フランステレコム
- 3-7 欧州携帯オペレータのFMS動向 78
- 3-8 北米オペレータのFMC動向
- 3-9 FMC/FMSの課題とフェムトセル

4. フェムトセルをめぐる通信業界の動き

- 4-1 各国通信事業者の動向
- 4-2 米国通信事業者の動向
  - 4-2-1 米国オペレータによる早期商用化の背景
  - 4-2-2 2G対応フェムトセルの真意
  - 4-2-3 “商材”以前の基地局ソリューション段階
  - 4-2-4 2008年のフェムトセル販売数
  - 4-2-5 AT&Tの3Gフェムト本格商用化が焦点
  - 4-2-6 スプリントのAirave
  - 4-2-7 Airave開始の意義
  - 4-2-8 3Gへの対応とIMSとの統合
  - 4-2-9 モバイルWiMAXとフェムトセル
  - 4-2-10 ベライゾンとのNetwork Extender
  - 4-2-11 AT&Tの3G MicroCell
  - 4-2-12 米国市場で初めての3G対応
  - 4-2-13 iPhoneのデータ通信トラヒックを分散
  - 4-2-14 IPTV用STBとフェムトセル統合へ
  - 4-2-15 CATV業界とWiMAXフェムトセル
  - 4-2-16 Embarqの複数事業者対応フェムトセル
- 4-3 欧州通信事業者の動向
  - 4-3-1 ボーダフォンの「Vodafone Access Gateway」
  - 4-3-2 サービスコンセプトと料金の齟齬
  - 4-3-3 屋外型「メトロフェムトセル」コンセプト
  - 4-3-4 テレフォニカO2
  - 4-3-5 商用サービス開始時期を2010年に先送り
  - 4-3-6 T-モバイル
  - 4-3-7 デュアルモードFMCとの両天秤
  - 4-3-8 フランステレコム
- 4-4 国内携帯電話事業者の動向
- 4-5 アジア通信事業者の動向

5. フェムトセル・ベンダーの動向と展望

- 5-1 フェムト専門ベンダーの登場
- 5-2 Ubiquisys(ユビキシス)
  - 5-2-1 早期からUMA/IMS対応に着手
  - 5-2-2 多様な企業との提携関係を構築
  - 5-2-3 HGWコンセプトにgoogleが着目
  - 5-2-4 フェムトセルによる全自動ポッドキャスト
  - 5-2-5 台湾SerComm製HGWIにフェムト統合
- 5-3 ip.access(アイピーアクセス)
  - 5-3-1 BTS小型化トレンドを起点に活動
  - 5-3-2 固定FMC対抗策としてOyster訴求
  - 5-3-3 ピコセル脱却でVCが売上4倍を期待
  - 5-3-4 シスコやクアルコムも戦略的投資

- 5-3-5 携帯事業のデータMoU向上を訴求
- 5-4 Airvana(エアバナ)
  - 5-4-1 CDMA無線ソリューションから出発
  - 5-4-2 3G CDMAフェムトセルを軸に展開
  - 5-4-3 国内CDMAフェムトセルで日立と提携
- 5-5 picoChip(ピコチップ)
  - 5-5-1 3G/WiMAXインフラチップから参入
  - 5-5-2 GSMからLTEまでの各方式をラインアップ
  - 5-5-3 フェムトセル部品価格の劇的下落を予想
  - 5-5-4 商用本格化で加速するVCの期待感
- 5-6 Airwalk(エアウォーク)
  - 5-6-1 企業向けフェムトセルを重視
  - 5-6-2 固定事業者のFMC市場に照準
  - 5-6-3 CDMAからIMSコアのLTEフェムトへ
  - 5-6-4 統合ソリューションでTango/Tataraと協力
- 5-7 大手総合ベンダーの動向と展望
  - 5-7-1 フェムト専門と総合ベンダー間の提携
  - 5-7-2 「フェムト・エコシステム」形成の背景
  - 5-7-3 フェムト一体型HGWと大手の参入動機
- 5-8 大手総合ベンダーの事業展望
  - 5-8-1 フェムト装置と総合ベンダーの収益性
  - 5-8-2 総合ベンダーにおける商品ポジション
  - 5-8-3 フェムトにぶら下がるビジネスの多様性
  - 5-8-4 長期ビジョンを欠いた海外先行事例
  - 5-8-5 海外進出のテストベッドたる国内市場
  - 5-8-6 フェムトセルにおける国内勢の優位性
  - 5-8-7 国内における早期の事業モデル確立

6. フェムトセルのマーケット像とビジネスモデル

- 6-1 フェムトセル装置市場の展望
  - 6-1-1 フェムトセル装置の販売形態
  - 6-1-2 エリア構成技術の革新とフェムトセル
  - 6-1-3 フェムトセル装置の市場特性
  - 6-1-4 世帯数/BB回線数と市場規模
  - 6-1-5 フェムトセル装置の市場イメージ
  - 6-1-6 白物家電とフェムトセルの市場特性
  - 6-1-7 フェムト機器の年間市場スケール
  - 6-1-8 売り切り方式の金額市場スケール
  - 6-1-9 機器ベンダーとフェムト単体ビジネス
  - 6-1-10 通信事業者からみた売り切り方式
  - 6-1-11 ネットワーク技術の革新とフェムト流通
  - 6-1-12 LTEへの移行とレンタル方式の利点
  - 6-1-13 無料工事に形を変えた購入補助金
- 6-2 フェムトセル周辺の市場展望
  - 6-2-1 周辺機器/サービスの潜在性
  - 6-2-2 フェムトセル初期フェーズの事業性
  - 6-2-3 国内のショーケース化と国際進出
  - 6-2-4 新旧混在コアにおける導入と国際展開
  - 6-2-5 ネットワークとユーザーの内外差
  - 6-2-6 ICT領域に踏み込むフェムトセル事業
  - 6-2-7 テレコムに閉じたモデルの矮小性
  - 6-2-8 フェムトセルとICTエコシステムの形成
  - 6-2-9 携帯事業者のBtoBtoCプラットフォーム
  - 6-2-10 MVNOとフェムトセルの相違点
  - 6-2-11 無線LANとフェムトセルの比較軸

**フェトセル集中調査プロジェクト  
「フェトセル関連市場と事業戦略の展望」市場調査報告書シリーズ**

**ご購入お申込み書**

※このページをコピーして、必要項目をご記入の上、FAXで下記まで送信してください。

株式会社 情報流通ビジネス研究所 企画調査グループ・フェトセル担当 行

**FAX番号 046-271-2324**

※部分は、ご連絡やお問合せ対応上、必要になりますので、必ずご記入ください。

※ご購入 レポート名 (丸で囲んで 下さい)	<b>ア. 第2回報告書「機器/サービス市場予測」編</b> (126,000円・税込 ※第1回報告書購入済み/同時購入の場合は99,750円・税込)			
	<b>イ. 第1回報告書「市場/業界/ビジネスモデル」編</b> (99,750円・税込)			
※お申込日	年	月	日	※お申込み部数 <span style="float:right">冊</span>
※御社名				
※部署名				
※所在地 (送付先)	〒	—		
※お名前	フリガナ			
	※御購読者ご本人のお名前をご記入下さい			お役職
※連絡先	※お問合せ対応等に 使用しますので、 必ず御購読者ご本人との ご連絡先をご記入ください	※E-mail	※お申込みの確認メールをお送りいたしますので、正確に大きくはっきりとご記入ください	
		※TEL	※携帯電話/PHS/IP電話 の番号は承れません	※FAX
年に3-4回、弊社から最新レポートのご案内を差し上げてよろしいですか？ (丸で囲んでください)	1. 必要ない	2. 情報通信に関するレポートなら案内を送付可 →	パンフ郵送を希望 /	メールでのお知らせを希望
		3. モバイル関連のレポートに限り案内を送付可 →	パンフ郵送を希望 /	メールでのお知らせを希望
		4. フェトセル関係レポートに限り案内を送付可 →	パンフ郵送を希望 /	メールでのお知らせを希望

※以下は、ご購読者とお申込者/ご請求先が異なる場合のみご記入ください

お申込者連絡先・ 請求先ご担当者 など	お名前			フリガナ	
	部署名			E-mail	※お申込み確認メールをお送り致しますので、正確に大きくはっきりとご記入ください
	連絡先	TEL			

通信欄 御見積書が必要な場合やご意見等ありましたらご記入ください。